

第1章 設置手順

1.1 設置を始める前に

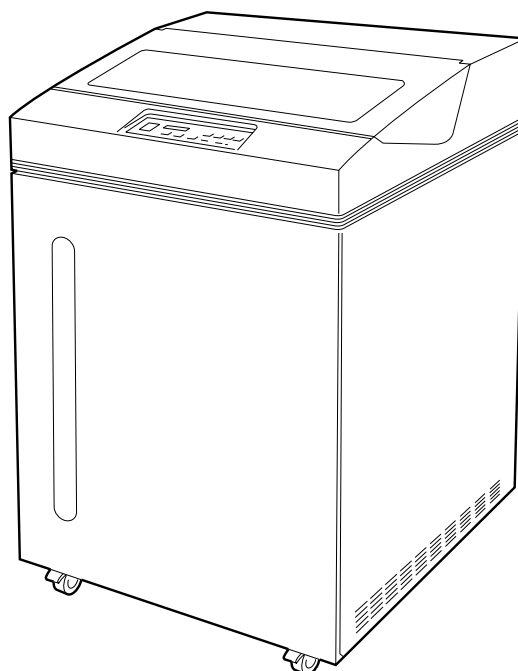
⚠危険

不用意な感電を避けるために、電源ケーブルは、指示があるまでコンセントに接続しないでください。また、インターフェース・ケーブルの接続および取り外しの際には、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

IBM 5400-006印刷装置の設置作業に入る前に以下のことを実施してください。

- 設置場所が第5章、『設置計画と導入準備』で指定されている環境および電源条件を満たしていることを確認してください。
- IBM 5400-006のテストに使用する用紙（15インチ幅の連続用紙）は、お客さまで用意してください。用紙についての詳細は、付録A、『印刷用紙の規格』を参照してください。
- ホスト・システムと接続するために、別途インターフェース・ケーブルが必要です。ケーブルはお客さまで用意してください。ケーブルについての詳細は、第5章、『設置計画と導入準備』を参照してください。
- IBM 5400-006本体および付属品に過不足または損傷がある場合は、弊社の営業担当員に連絡してください。付属品は、IBM 5400-006内部に梱包されています。

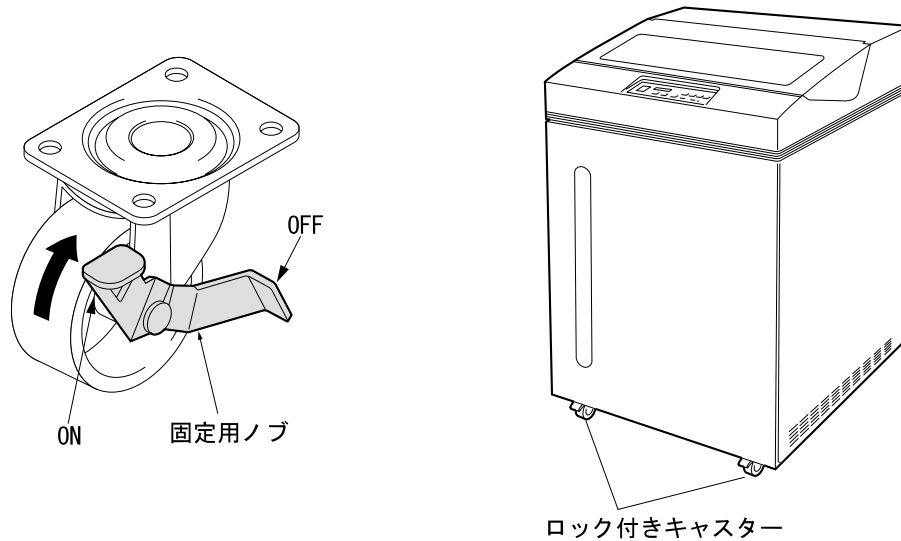
IBM 5400-006 印刷装置



IBM 5400-006を動かすとき

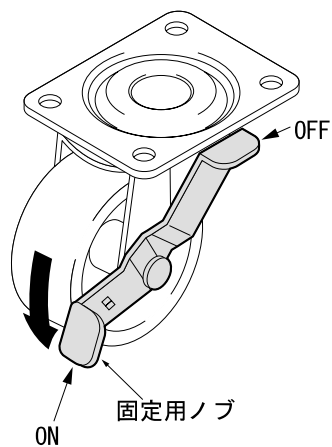
- IBM 5400-006を動かすときは、前方2箇所のキャスターのロックを解除し、2人以上で動かしてください。キャスターの固定用ノブを図の矢印方向へ上げると、ロックは解除されます。

注： キャスターをロックしたままで移動すると、床を傷つけたり、キャスターが破損することがありますので注意してください。



- IBM 5400-006を所定の位置に固定する場合は、前方2箇所のキャスターをロックしてください。キャスターの固定用ノブを図の矢印方向に下げると、ロックされた状態になります。

注： 印刷装置は平らな床上に設置してください。キャスターにケーブル類またはその他のものがはさまれていないことを確認してください。

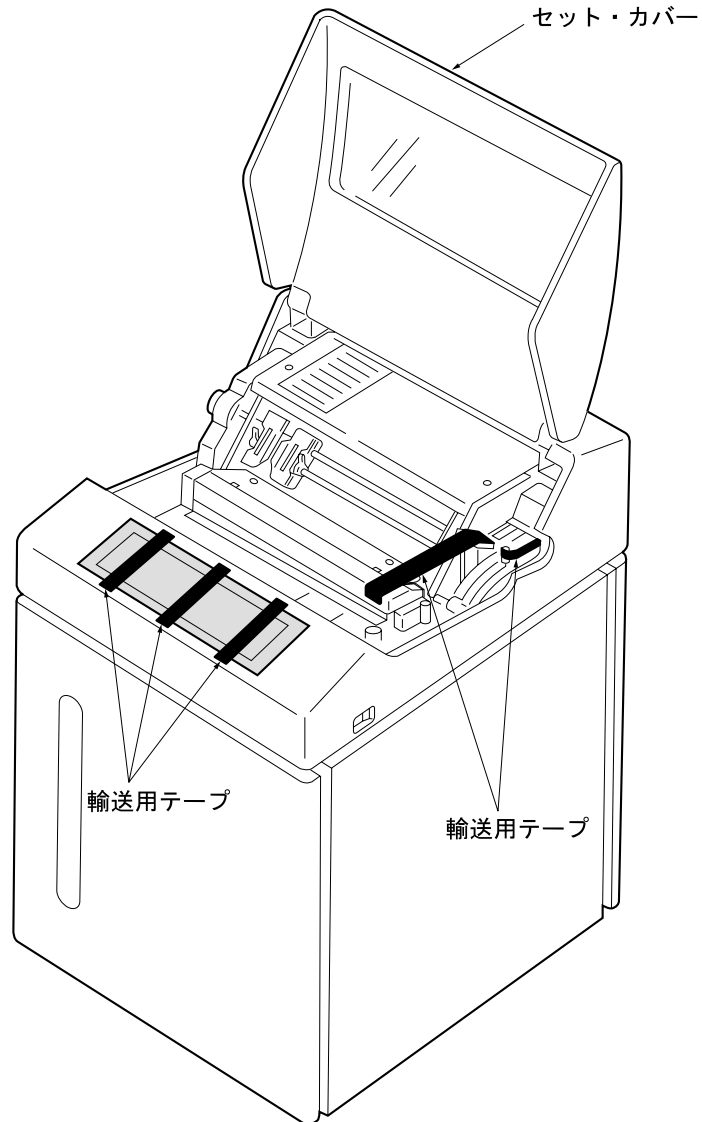


1.2 IBM 5400-006の設置

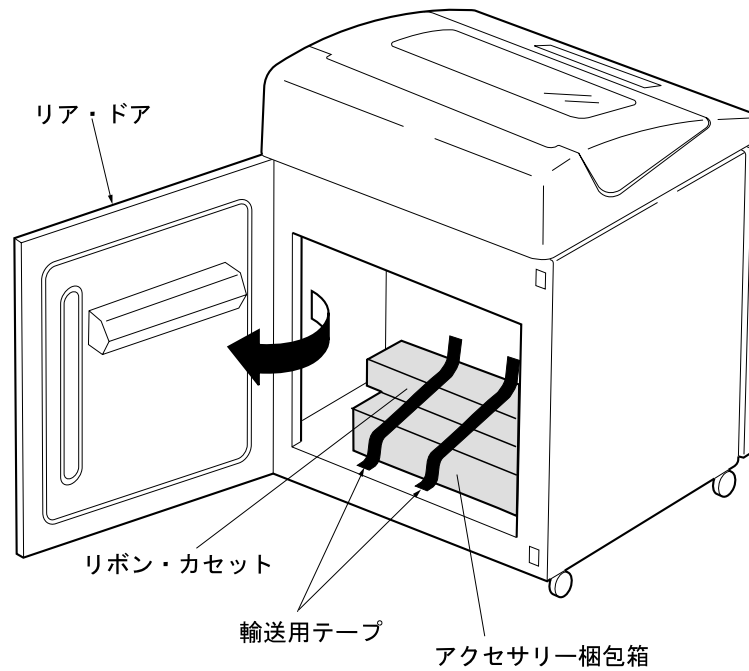
IBM 5400-006印刷装置は傾きのない水平な床面に設置してください。

1.2.1 輸送用テープの取り外しと付属品の確認

- 1 セット・カバーを開け、下図の各部に貼ってある輸送用テープをすべてはがしてください。テープをはがし終えたらセット・カバーを閉めてください。

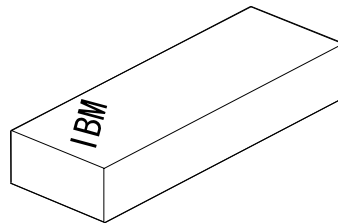


- 2** 印刷装置背面のリア・ドアを開け、リボン・カセットとアクセサリ梱包箱を固定している輸送用テープをはがしてください。

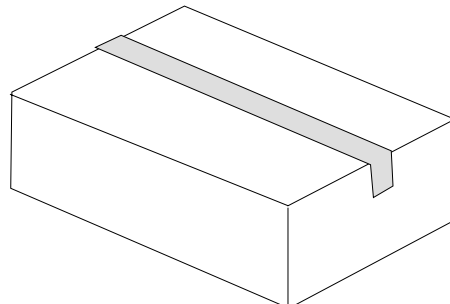


- 3** 以下のものがそろっていることを確認してください。

□ リボン・カセット

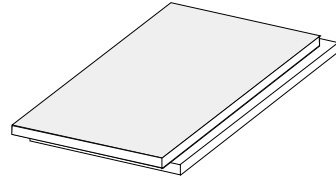


□ アクセサリ梱包箱

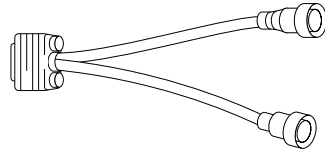


4 アクセサリー梱包箱の中に、以下のものがそろっていることを確認してください。

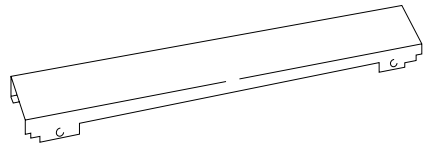
- 設置と操作の手引き（本書）
- 保守マニュアル



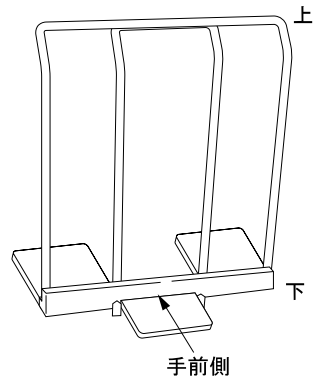
- Vケーブル (LAN フィーチャーを選択した場合、Vケーブルは付属されていません。)



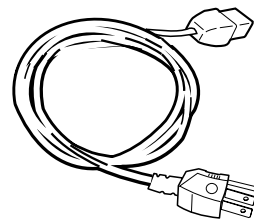
- カール・コレクター



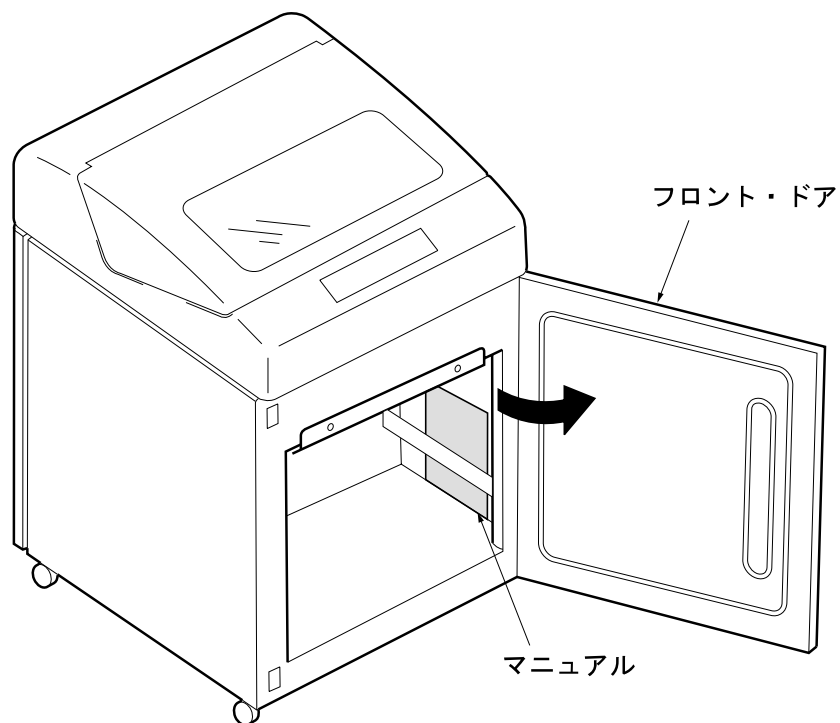
- リア・フェンス



- 電源ケーブル



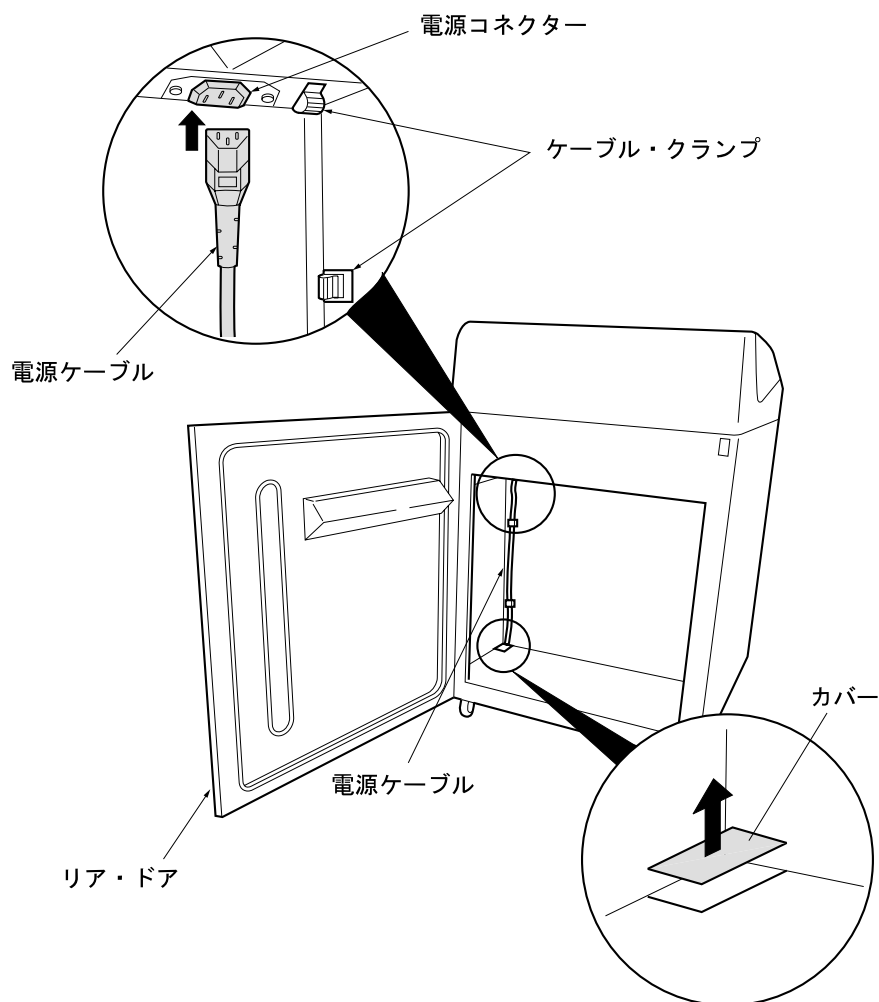
- 5 印刷装置前面のフロント・ドアを開け、2冊のマニュアルを下図の場所に入れてください。



1.2.2 電源ケーブルの接続

- 1 リア・ドアを開けてください。
- 2 スタッカ部左奥の穴をふさいでいるカバーを取り外してください。下の方から手でカバーを押し上げるようにすると外れます。（このカバーはこのあと使用しません。）
- 3 スタッカ部左側の上部にある電源コネクタに電源ケーブルのプラグを差し込み、下部の穴に電源ケーブルを通してください。その後、3箇所ケーブル・クランプでケーブルを固定してください。

注： 電源ケーブルは最短の長さでスタッカ部左側の穴より 5400-006 の外側に出してください。スタッカ内に必要な長さ以上のケーブルがあると、スタッカ・ジャムの原因になることがあります。



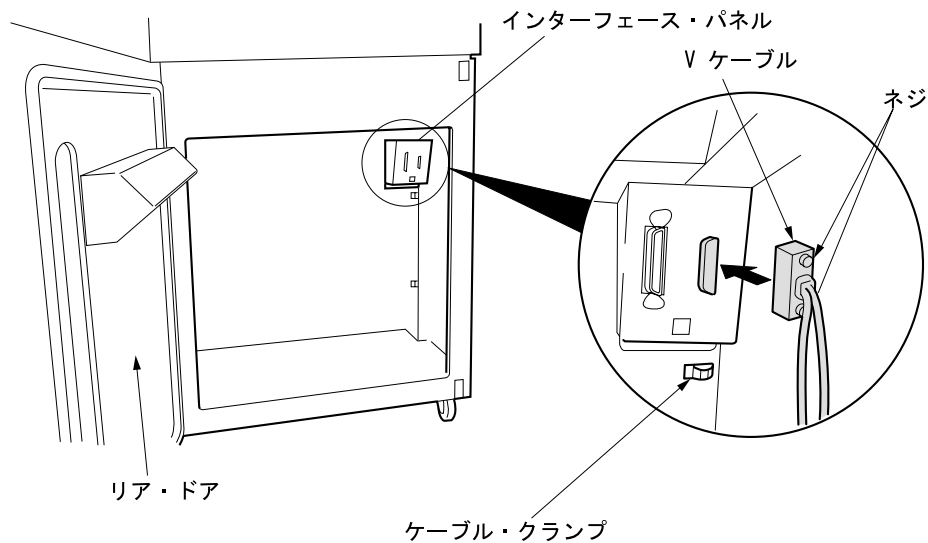
— ご注意ください —

電源コンセントは、設備端子付きの3極対応のものをご使用ください。3極 2極変換プラグは使用しないでください。正しく印字しない場合があります。

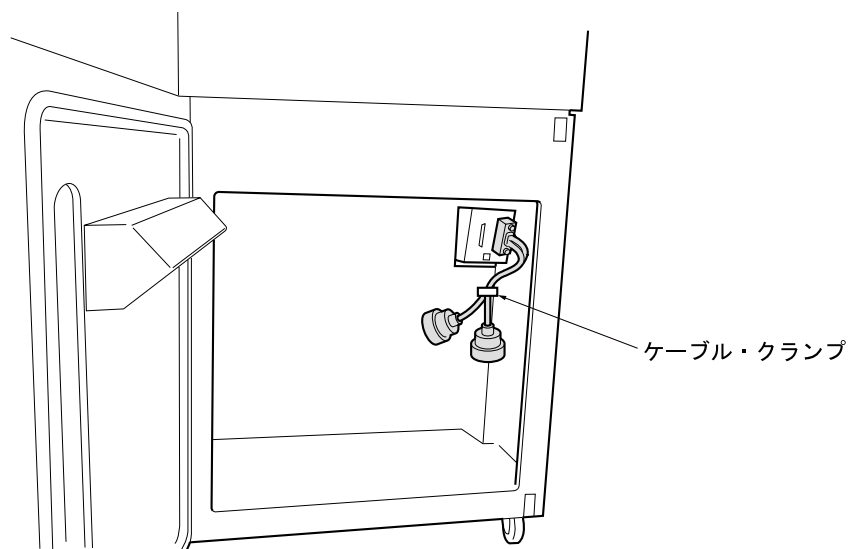
1.2.3 Vケーブルの接続 (AS/400 システムと接続の場合)

パラレル・ポートを使用して PC と接続する場合あるいは LAN に接続する場合 (LAN フィーチャー)は、次ページの『用紙ガイドのセット』に進んでください。

- 1 リア・ドアを開いてください。
- 2 インターフェース・パネルの右側のコネクターに V ケーブルを接続してください。接続した後、Vケーブルのネジ 2 本を締めてください。



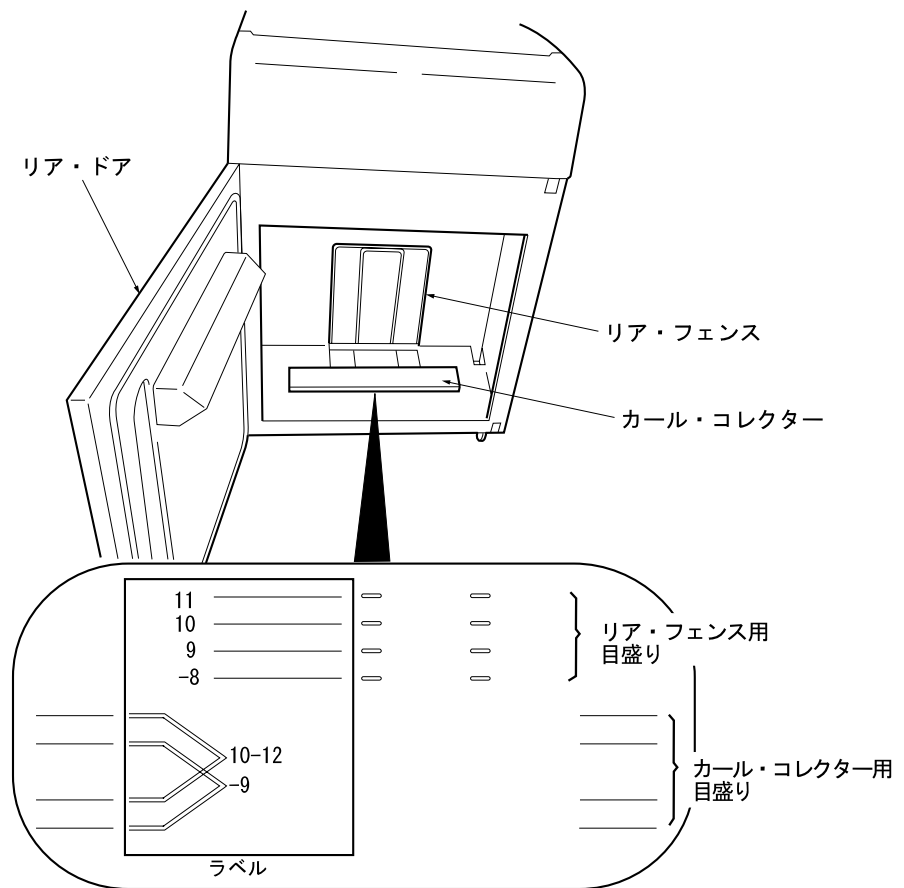
- 3 インターフェース・パネルの下側にあるケーブル・クランプを使用して、V ケーブルを固定してください。



1.2.4 用紙ガイドのセット

テスト印字に使用する幅15インチ、長さ11インチの連続用紙用にリア・フェンスとカール・コレクターをセットします。

- 1 リア・ドアを開けてください。
- 2 リア・フェンスを目盛り「11」の位置に下図を参考に立ててください。
- 3 カール・コレクターを目盛り「10 - 12」の位置に置いてください。

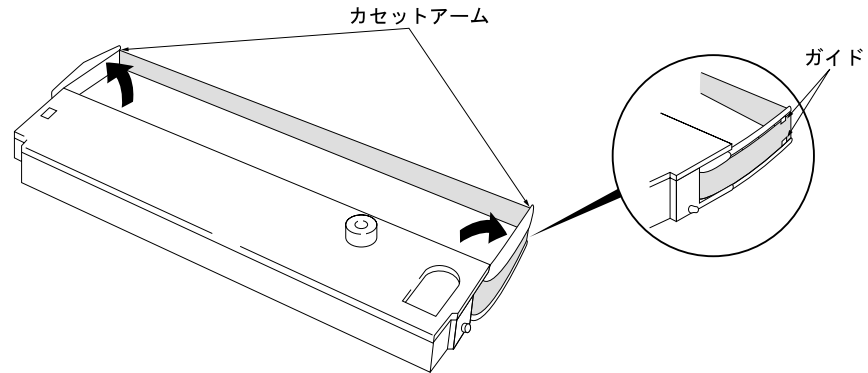


- 4 リア・ドアを閉めてください。

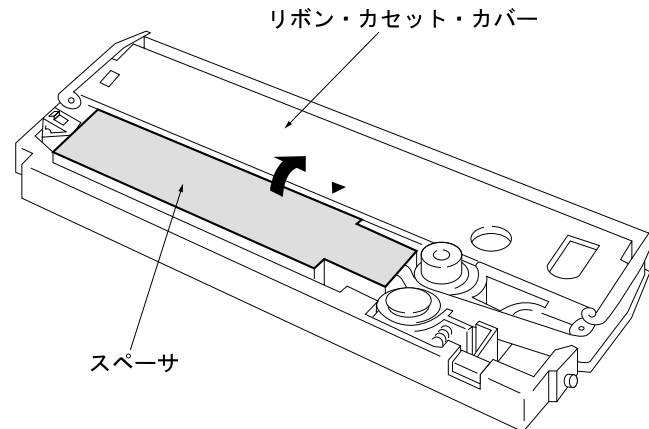
1.2.5 リボン・カセットのセット

はじめにリボン・カセット自体のセットをします。

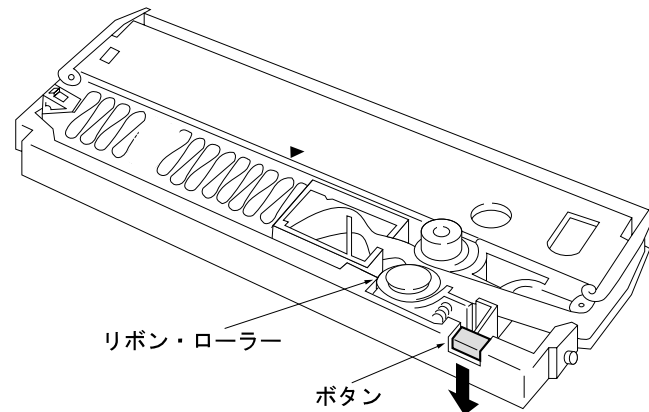
- 1 箱からリボン・カセットを取り出して、左右のカセット・アームを矢印の方向に開いてください。このとき、カセット・アームのガイドにリボンが通っていることを確認してください。



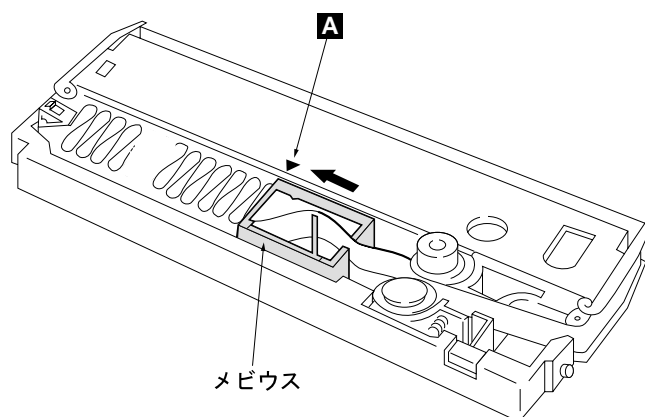
- 2 リボン・カセット・カバーを矢印の方向に開き、紙でできたスペーサーを取り除いてください。



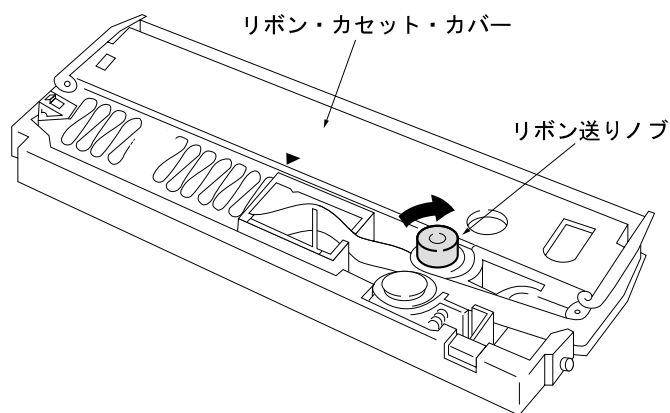
- 3 ボタンを押して、リボン・ローラーを閉じてください。



- 4** メビウスを“ ”マーク **A** まで移動してください。



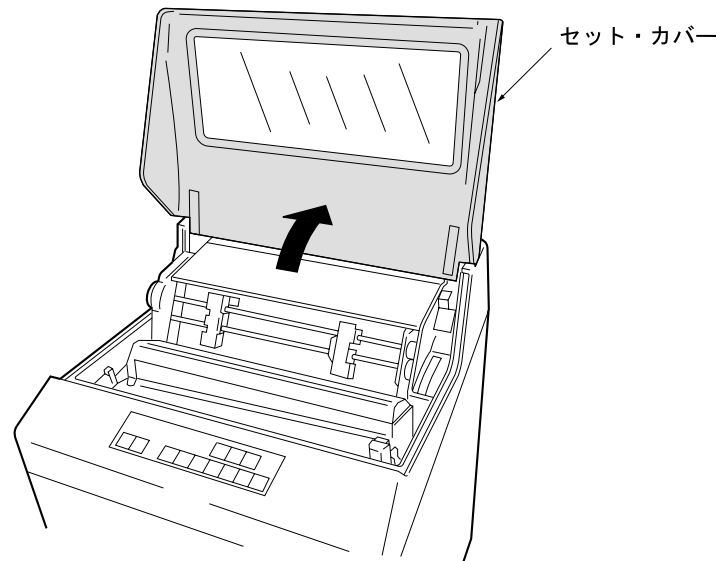
- 5** リボン送りノブを時計回り方向に回して、リボンのたるみを取ってください。



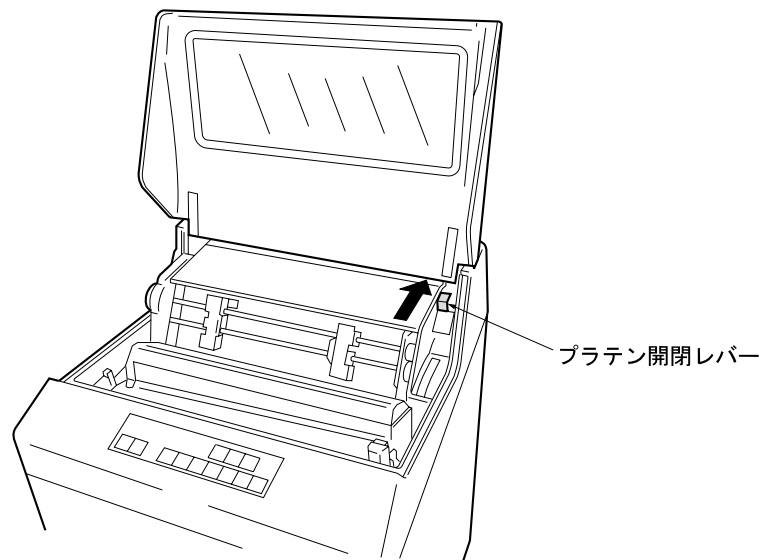
- 6** リボン・カセット・カバーを閉じてください。

これでリボン・カセット自体のセットは終了です。次にリボン・カセットをプリンター本体に取り付けます。

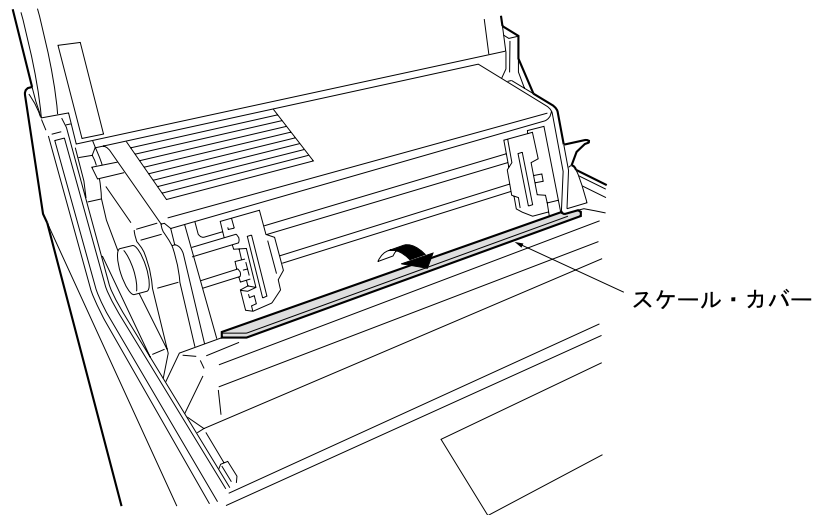
7 セット・カバーを開けてください。



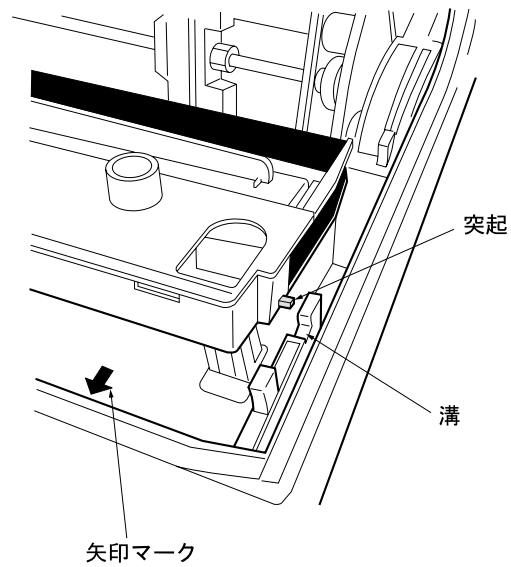
8 プラテン開閉レバーを後ろへ押し紙送り部を開けてください。



9 スケール・カバーを矢印の方向に開けてください。

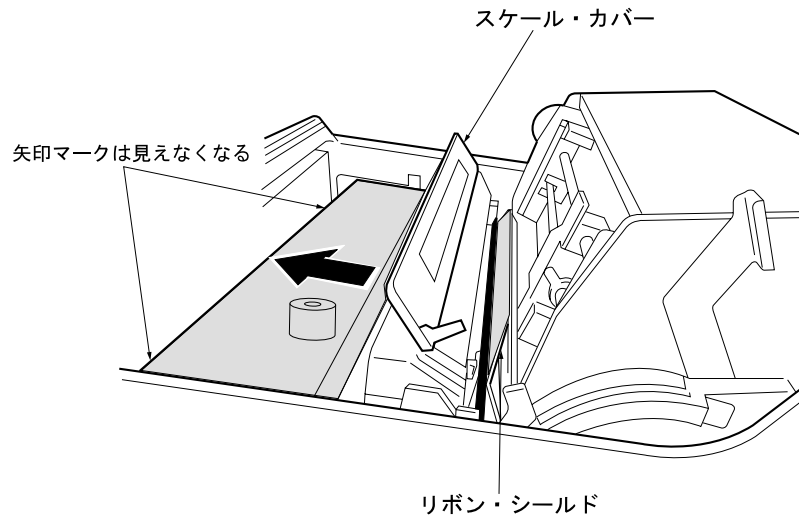


10 リボン・カセットの左右両側にある突起を溝に入れてください。このとき、左右に図のような矢印マークがあることを確認してください。



11 リボン・カセットをカチッとロックするまで手前に引いてください。このとき、次の2点を確認してください。

- リボンがリボン・シールド（穴付きの薄い金属板）の手前に入っていること。
- 矢印マークが左右とも隠れていること。



12 スケール・カバーを閉じてください。

13 プラテン開閉レバーを手前に引いて、紙送り部を閉じてください。

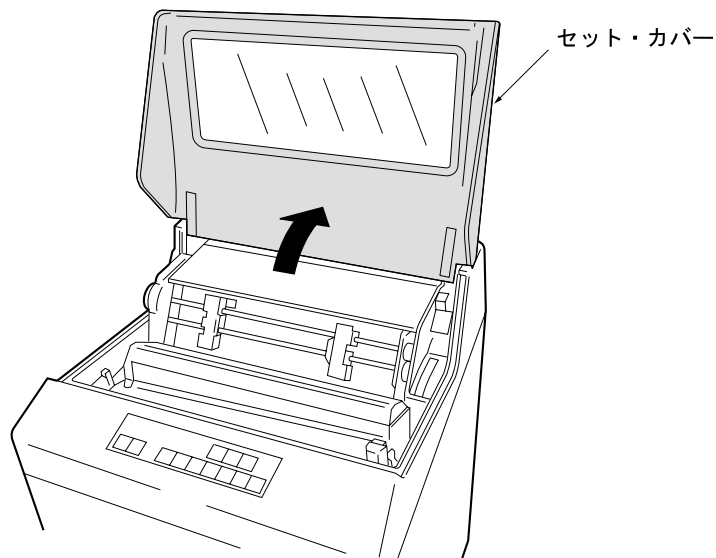
14 セット・カバーを閉めてください。

以上でリボン・カセットのセットは終了です。

1.2.6 用紙のセット

以下の手順でテスト印字用の用紙をセットします。テスト印字には、幅15インチ 長さ11インチの連続用紙を使用してください。

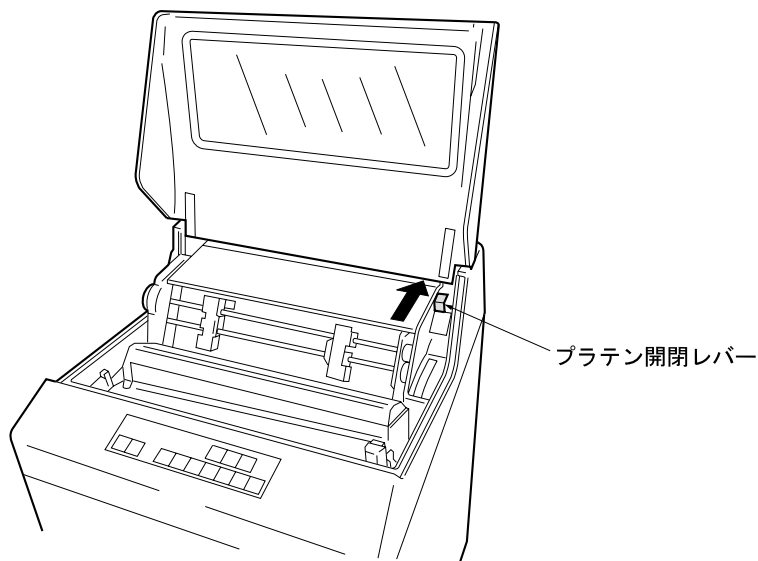
1 セット・カバーを開けてください。



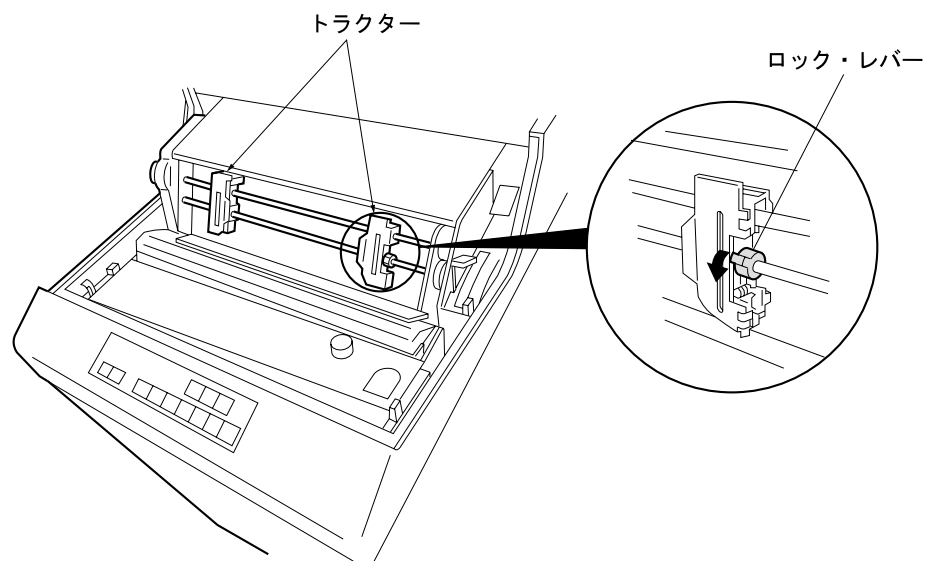
2 プラテン開閉レバーを後ろへ押して、紙送り部を開けてください。

注:

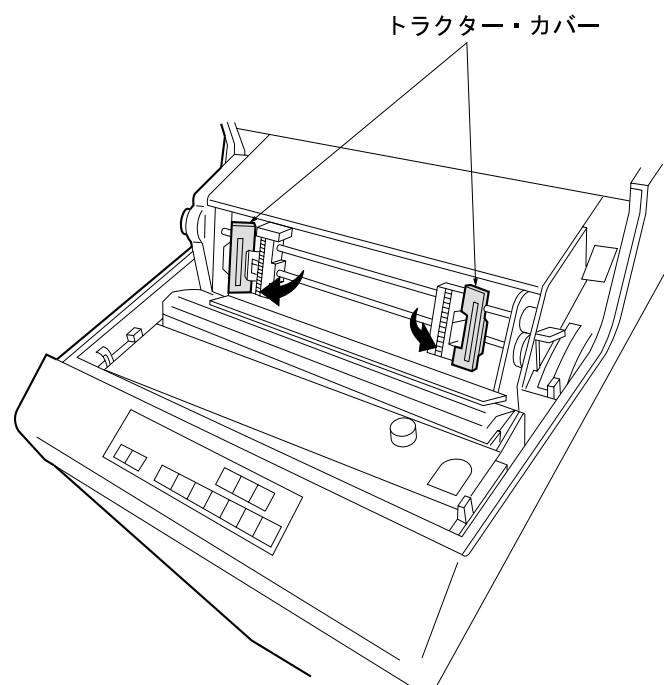
- a. 紙送り部を開けずに用紙をセットすると、用紙端面が痛み用紙づまりの原因となりますし、ほかの誤動作の原因ともなります。
- b. 紙送り部を開いた状態（「開」の状態）からさらにプラテン開閉レバーを右に押しながら後方に押すと「全開」の状態になりますが、用紙をセットする場合は、「全開」の状態にはしないでください。用紙の先端位置にずれが生じます。



- 3** 左右トラクターわきのロック・レバーを手前に倒し、ロックを解除してください。トラクターは左右に移動できます。用紙幅に合うように移動させてください。



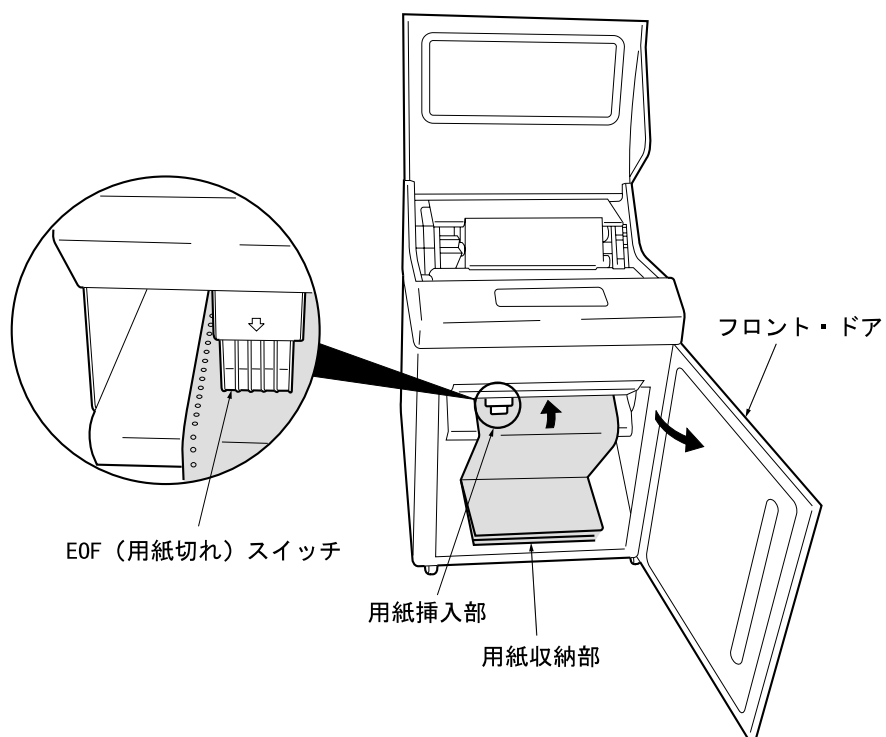
- 4** トラクター・カバーを開けてください。



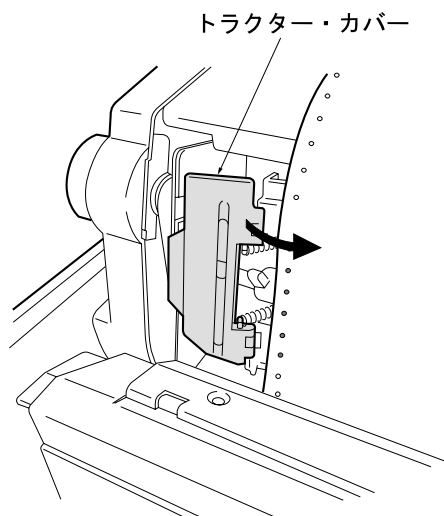
- 5 フロント・ドアを開けて、テスト用紙を用紙収納部に入れてください。次に用紙の先端を用紙挿入部から挿入し、トラクターの高さまで押し上げてください。押し上げにくい場合には、用紙を左右に動かしながら押し上げてください。

— ご注意ください —

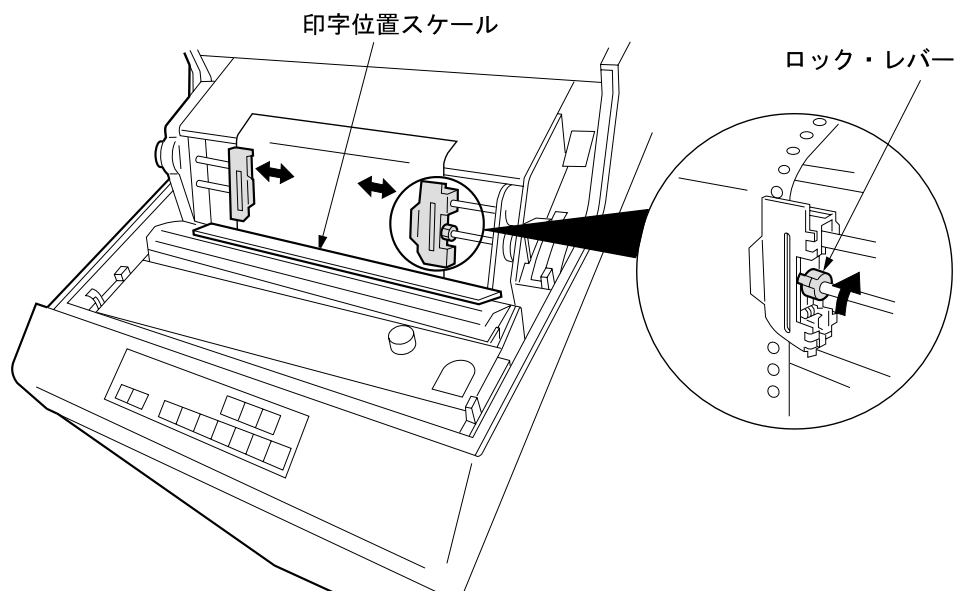
用紙の左端がEOF（用紙切れ）スイッチより左になるようにセットしてください。



- 6 用紙両側の送り穴を左右トラクターのピンに合わせ、トラクター・カバーを閉じてください。



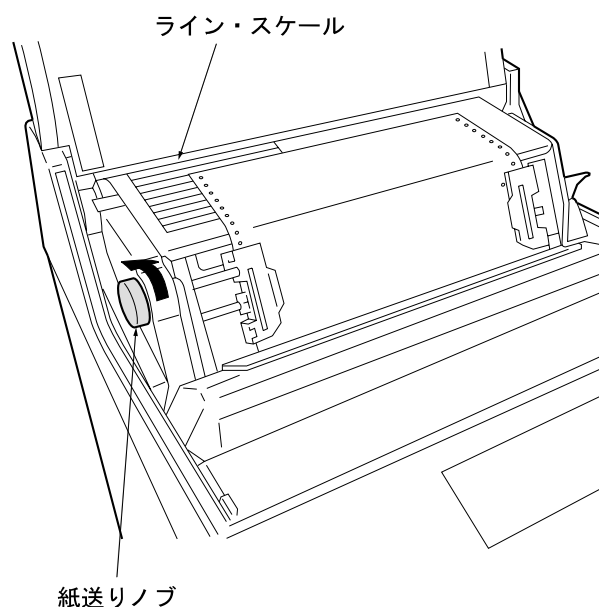
- 7 印字位置スケール（1~136）が用紙幅内に入るように、トラクターを動かして用紙の位置を決め、両方のロック・レバーを後方に倒してください。このとき用紙がたるまないようにします。



- 8 紙送りノブを回して、用紙のミシン目をライン・スケールの目盛に合わせてください。ここでは「11」に合わせてます。

— ご注意ください —

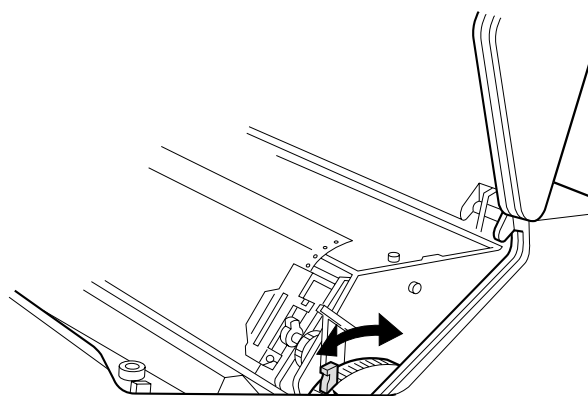
紙送り部が「全開」の状態でないことを確認してください。（ステップ2（1-15ページ）の注bを参照）



9 印字圧設定レバーを用紙に合わせて調整してください。

注： 連量55kgの一部（1P）用紙（上質紙）では目盛「1」の位置に設定してください。そのほかの用紙の場合は、下の表を目安にしてセットする用紙に最適な位置に設定してください。（2-48ページの2.9.1、『印字圧の調整』を参照）

印刷用紙の種類		印字圧設定レバー位置
1P （1部紙）	55kg ~ 70kg	1 ~ 2
	90kg ~ 135kg	2 ~ 3
2P（2部紙）	30kg ~ 45kg	1 ~ 2
3P（3部紙）	30kg ~ 45kg	2 ~ 3
4P（4部紙）	30kg ~ 34kg	3 ~ 4
5P（5部紙）	30kg ~ 34kg	3 ~ 5
6P（6部紙）	30kg ~ 34kg	4 ~ 6
7P（7部紙）	30kg ~ 34kg	4 ~ 6
8P（8部紙）	30kg ~ 34kg	5 ~ 7



印字圧設定レバー

10 プラテン開閉レバーを手前に引いて、紙送り部を閉じてください。

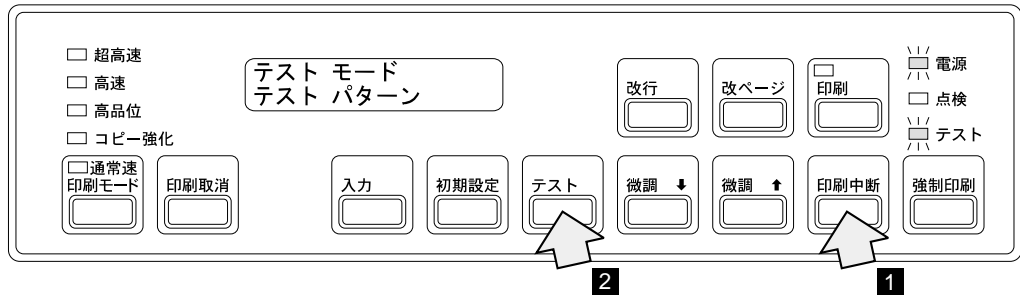
11 セット・カバーとフロント・ドアを閉じてください。

以上で用紙のセットは終了です。

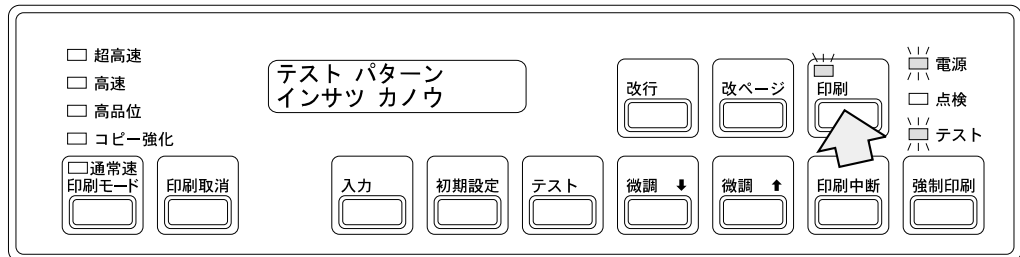
1.2.7 IBM 5400-006のテスト

テスト印字を以下の手順で行います。用紙は15インチ幅のものを使用してください。

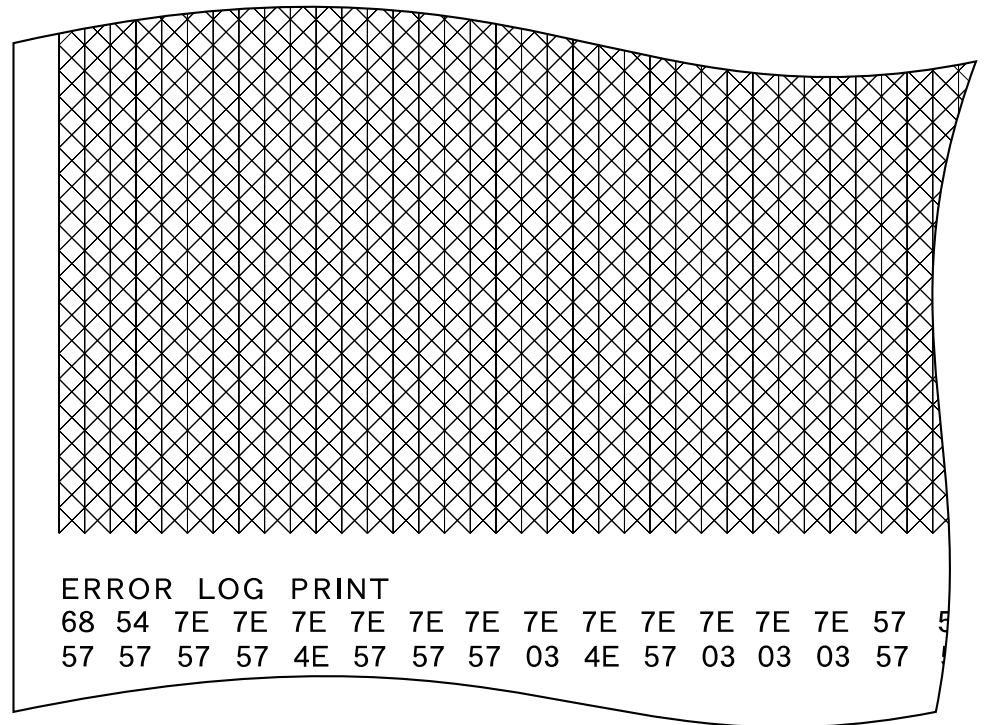
- 1 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを(|)側に倒してください。電源が入ります。(2-10ページの2.3.1、『電源オン』を参照)
- 2 **印刷中断**を押した後、**テスト**を押してください。テスト・ライトが点灯し、メッセージ表示部に以下のメッセージが表示されます。



- 3 **印刷**を押してください。印刷ライトが点灯し、テスト印字が始まります。



テスト印字は、下図に示すテスト・パターンが1ページ(11インチ用紙で)印刷されて自動的に終了します。



- 4 **改ページ** または **改行** を使用して用紙を切り取りやすい位置まで送り、セット・カバーを開けてミシン目で切ってください。
- 5 リア・ドアを開け、サンプルの印字済み用紙を取り出し、印字の品質を確認してください。
- 6 リア・ドアを閉めてください。
- 7 **印刷中断** を押してから **印刷取消** を押し、テストを終了させてください。

以上でIBM 5400-006のテストは終了です。

次ページの「1.3, ホスト・システムとの接続」に進んでください。

1.3 ホスト・システムとの接続

AS/400 システムに接続する場合と PC に接続する場合とは手順が異なります。出荷時は、AS/400 システムと接続するように初期設定されています。PC に接続する場合は、1-26ページに進んでください。LAN に接続する場合 (Ethernet 10/100 Base Tx接続機構、以下 LAN フィーチャーと呼ぶ。) は、1-30ページの1.3.3、『AS/400 システムと接続 (LAN フィーチャー Telnet5250 接続) する場合』 (LAN フィーチャー) もしくは1-35ページの1.3.4、『PC と接続 (LAN フィーチャー LPR 接続) する場合』に進んでください。

また、5400-006プリンターには、インターフェース・パネルに DC 12V電源用プラグが備えられています。パラレル・ポートに設置できるプリント・サーバーなどのDC電源として使用できます。詳しくは、F-1ページの付録F、『DC 12V 電源』を参照してください。

⚠危険

以下の手順を実行する前にiiiページの『安全に正しくお使いいただくために』をお読みください。

1.3.1 AS/400 システムと接続 (システム・ポート接続) する場合

5400-006のアドレスを設定し、それからインターフェース・ケーブルを接続します。

インターフェース・ケーブルについて

- インターフェース・ケーブルは別売りです。
詳細については、5-3ページの5.1.4、『ケーブル』を参照してください。

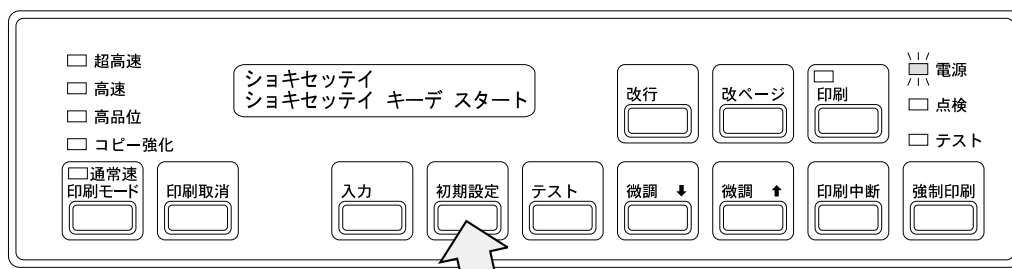
アドレスの設定

プリンターのアドレスを0～6のいずれかに設定します。

設定するアドレスの値については、ホスト・システムの管理者にお尋ねください。出荷時は0に設定されています。

1 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを (|) 側に倒してください。電源が入ります。(2-10ページの2.3.1、『電源オン』を参照)

2 **初期設定** を押してください。メッセージ表示部には次のメッセージが表示されません。

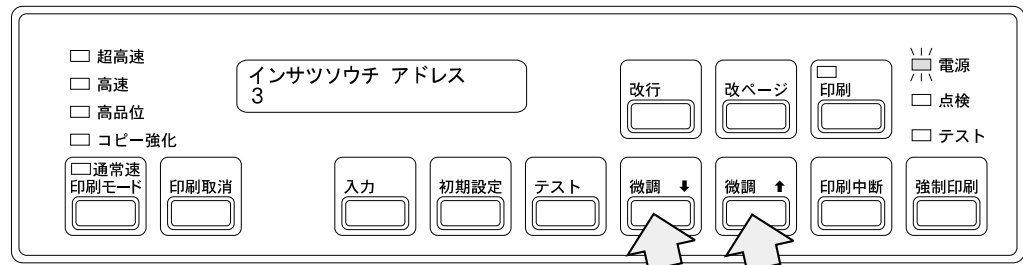


3 下記のメッセージが表示されるまで、**初期設定** を数回押してください。

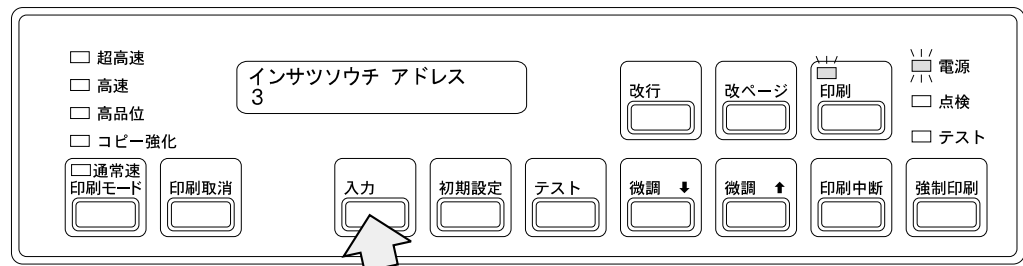


行きすぎたときは、**改行** を押すと戻ります。

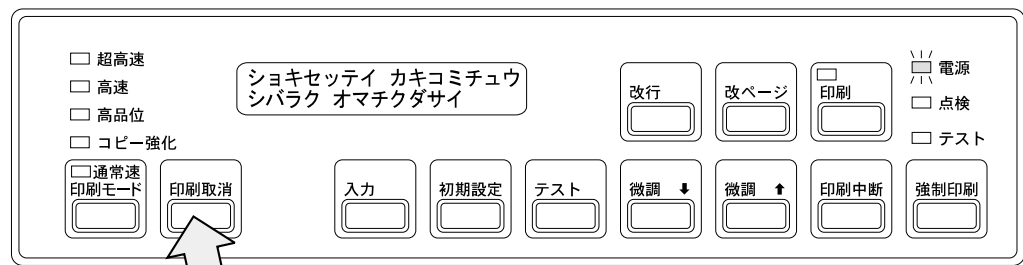
4 **微調** または **微調** を押して、メッセージ表示の下段のアドレス値を選択してください。下図のメッセージは「3」を選択した例です。



5 アドレスを選択したら **入力** を押してください。このとき、印刷ライトが点灯します。



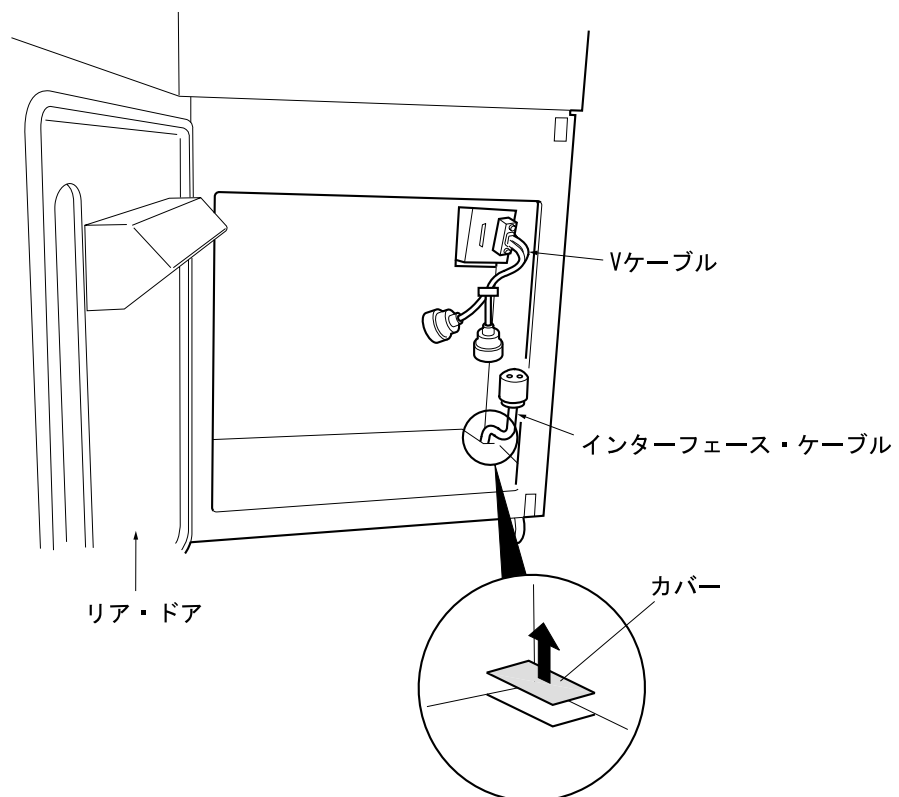
6 **印刷取消** を押してください。メッセージ表示部は以下のように変わります。



初期設定が終了すると、5400-006は電源を入れた直後の状態に戻ります。しばらくお待ちください。(2-10ページの2.3.1、『電源オン』を参照)

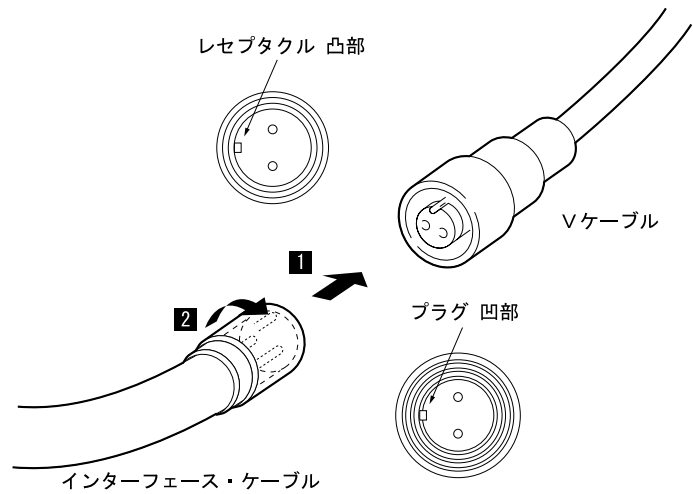
インターフェース・ケーブルの接続

- 1 電源スイッチを () 側に倒して電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 2 リア・ドアを開けてください。
- 3 インターフェース・ケーブルを V ケーブルに接続します。
 - a. スタッカー部左奥の穴をふさいでいるカバーを取り外してください。下の方から手でカバーを押し上げるようにすると外れます。(このカバーはこのあと使用しません。)
 - b. インターフェース・ケーブルを開けた穴から通してください。

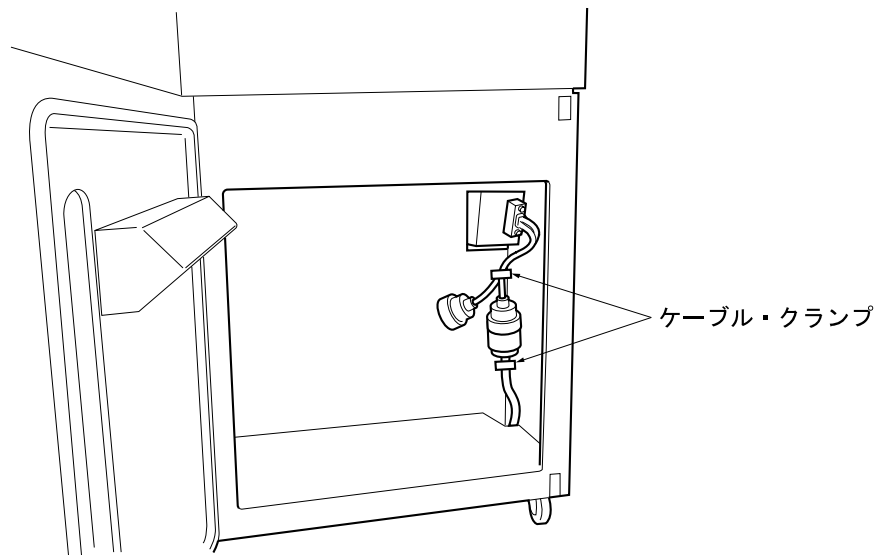


- c. インターフェース・ケーブルのプラグを V ケーブルのどちらかのレセプタクルに差し込んでください。 **1** (プラグの 凹 部とレセプタクルの 凸 部がうまくかみ合うようにします。)

- d. プラグの内側の部分はネジになっています。このネジ部を図の矢印方向に締め、プラグとレセプタクルをロックしてください。 **2**



- 4** ケーブル・クランプを利用して、インターフェース・ケーブルを固定してください。



- 5** リア・ドアを閉めてください。

AS/400 システムと接続する場合、以上で IBM 5400-006 の設置は終了です。

フロント・ドア、リア・ドアの開閉方向を変更する場合は、2-57ページの2.11、『ドア開閉方向の変更』を参照してください。

1.3.2 PC と接続 (パラレル・ポート接続) する場合

出荷時は AS/400 システムと接続するように初期設定されていますので、インターフェース・ポートの初期設定項目をパラレル・ポートに変更した後、インターフェース・ケーブルを接続します。

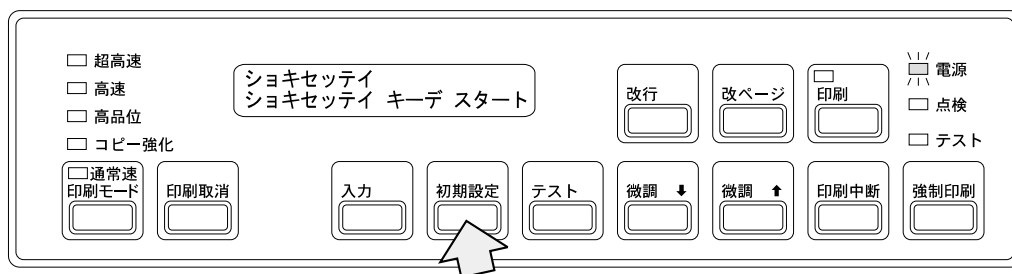
—— インターフェース・ケーブル (プリンター・ケーブル) について ——

- プリンター・ケーブルは別売りです。
 - ID# 81X7875 (2.4 m)
 - ID# 09F5544 (5.0 m)
- プリンター・ケーブルのコネクターは、プリンター側36ピン、システム側25ピンです。36ピン~36ピンのケーブルは使用できませんのでご注意ください。

インターフェース・ポートの設定

プリンターの接続を PC に変更します。

- 1** 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを (|) 側に倒してください。電源が入ります。(2-10ページの2.3.1、『電源オン』を参照)
- 2** **初期設定** を押してください。メッセージ表示部には次のメッセージが表示されません。

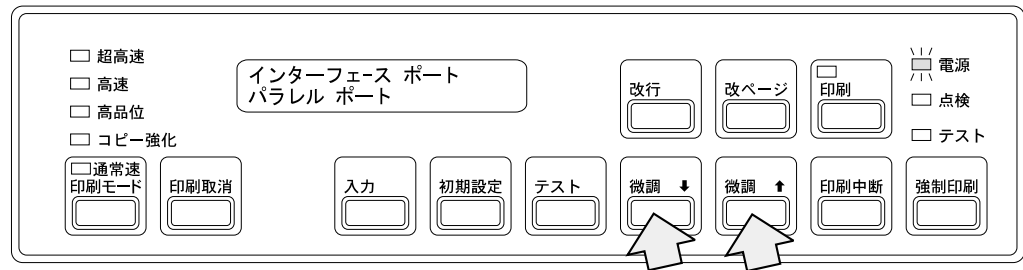


- 3** 再度 **初期設定** を押すと次のメッセージが表示されます。

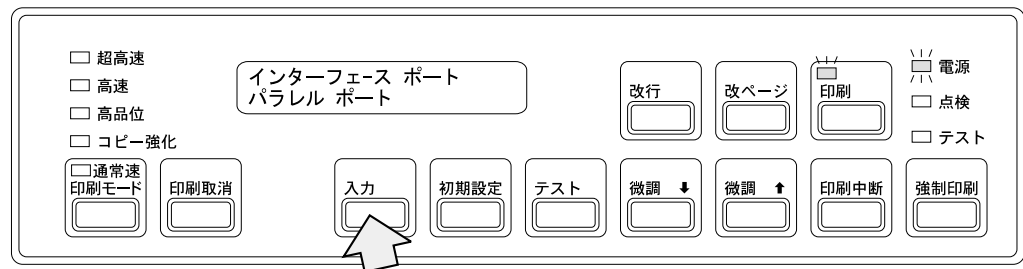
インターフェース ポート
システム ポート

行きすぎたときは、**改行** を押すと戻ります。

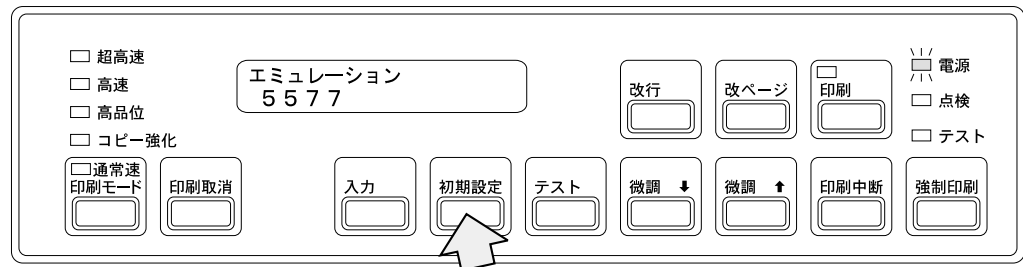
- 4 **微調** または **微調** を押して、メッセージ表示の下段を「**パラレル ポート**」に変えてください。



- 5 **入力** を押してください。

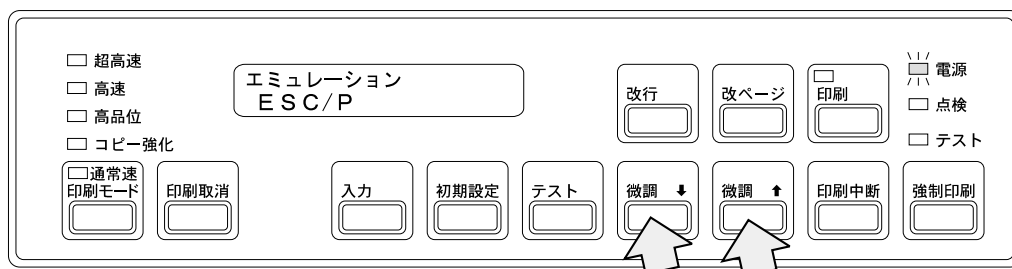


- 6 **初期設定** を押すと、PC 接続時の「**エミュレーション**」選択が表示されます。

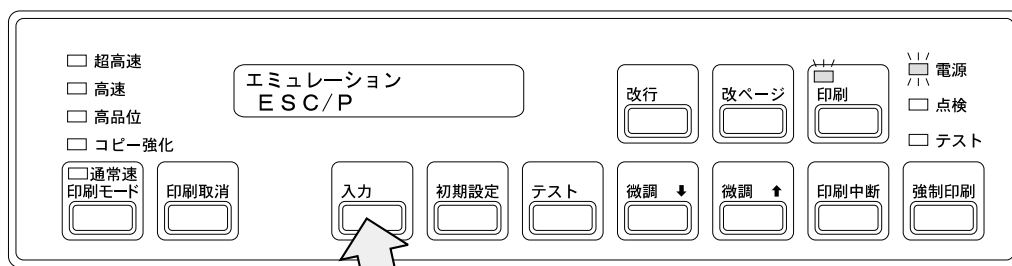


注: 出荷時は、5577エミュレーションが選択されています。

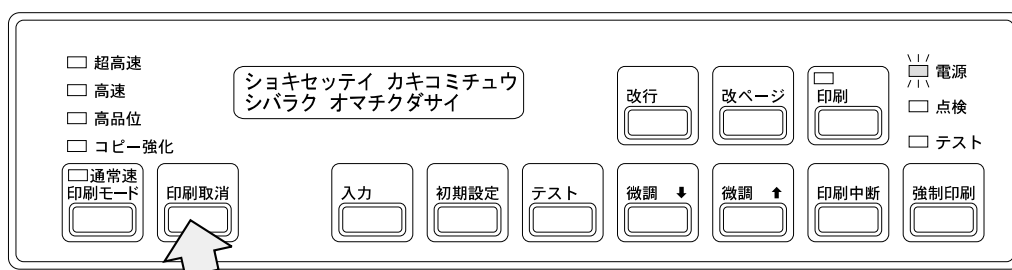
- 7 **微調** または **微調** を押して、メッセージ表示下段のエミュレーション・モードをご使用されるものに変えてください。下図は「ESC/P」が選択されている例です。



- 8 **入力** を押してください。



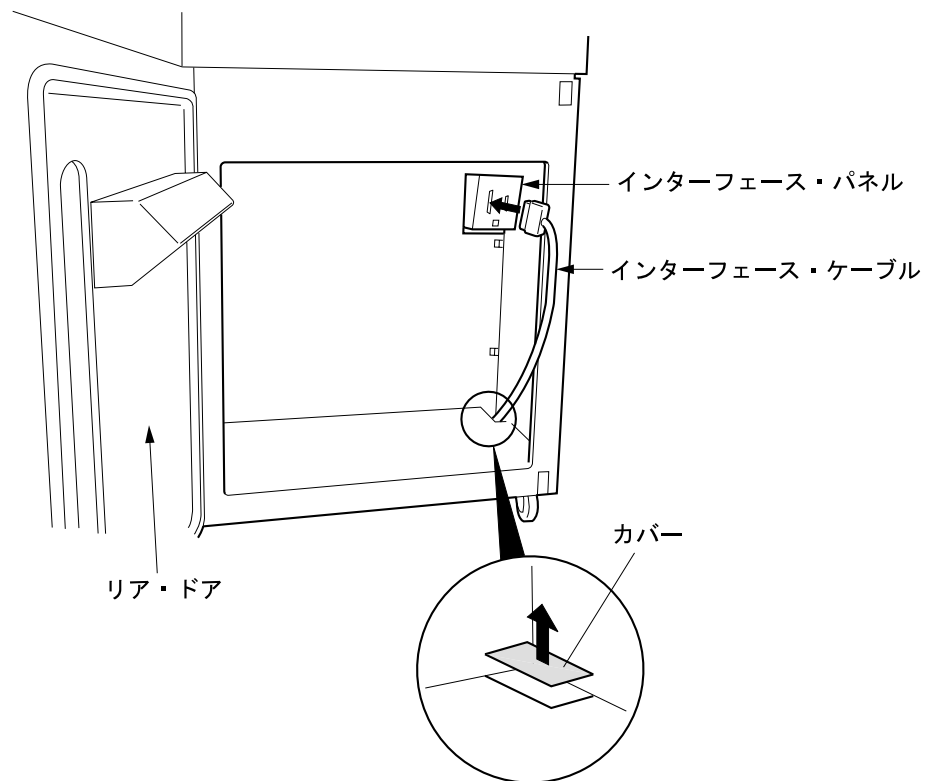
- 9 **印刷取消** を押してください。メッセージ表示部は以下のように変わります。



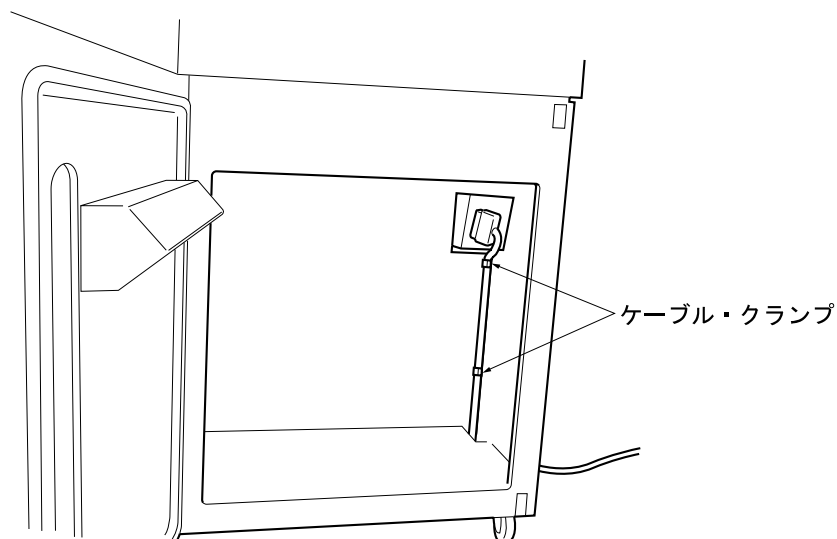
初期設定が終了すると、5400-006は電源を入れた直後の状態に戻ります。しばらくお待ちください。（2-10ページの2.3.1、『電源オン』を参照）

インターフェース・ケーブルの接続

- 1 電源スイッチを()側に倒して電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 2 リア・ドアを開けてください。
- 3 スタッカー部右奥の穴をふさいでいるカバーを取り外してください。下の方から手で押し上げるようにすると外れます。(このカバーはこのあと使用しません。)
- 4 インターフェース・ケーブルを開けた穴から通して、インターフェース・パネルの左側のコネクタに接続してください。



- 5 スタッカー部右側にあるケーブル・クランプを使用して、インターフェース・ケーブルをスタッカー部に固定してください。



- 6 リア・ドアを閉じてください。

PC と接続する場合、以上でIBM 5400-006の設置は終了です。

フロント・ドア、リア・ドアの開閉方向を変更する場合は、2.11, 『ドア開閉方向の変更』を参照してください。

1.3.3 AS/400 システムと接続 (LAN フィーチャー Telnet5250 接続) する場合

インターフェース・ケーブルを接続し、5400-006 LAN フィーチャーの TCP/IP および Telnet5250 の各設定を行います。

TCP/IP の設定

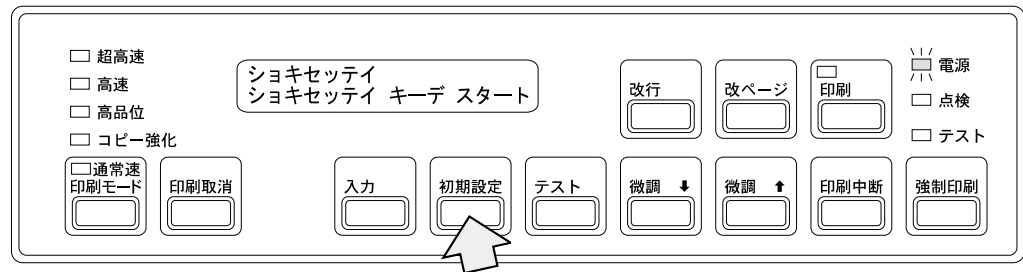
TCP/IP 設定には、図1-1 に示される各々のパラメーターがあります。TCP/IP により接続する場合、設定が必要なパラメーターです。

図 1-1. TCP/IP パラメーター		
構成パラメーター	説明	選択値
印刷装置名	これは印刷装置に割り当てられた固有な名前です。	最大 16 文字の英数字。
IP アドレス	印刷装置のインターネット・プロトコル (IP) アドレスを少数点付き 10 進数で指定します。	数値の形式は、 xxx.xxx.xxx.xxx
サブネット・マスク	ローカル・サブネットを識別するマスクを少数点付き 10 進数で指定します。	数値の形式は、 xxx.xxx.xxx.xxx
デフォルト・ゲートウェイ・アドレス	デフォルト・ゲートウェイの IP アドレスを少数点付き 10 進数で指定します。	数値の形式は、 xxx.xxx.xxx.xxx

TCP/IP 設定の入力

TCP/IP で設定するパラメーターの各設定値については、システム管理者にお尋ねください。

- 1 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを (|) 側に倒してください。電源が入ります。(2-10ページの2.3.1、『電源オン』を参照)
- 2 **初期設定** を押してください。メッセージ表示部には次のメッセージが表示されません。

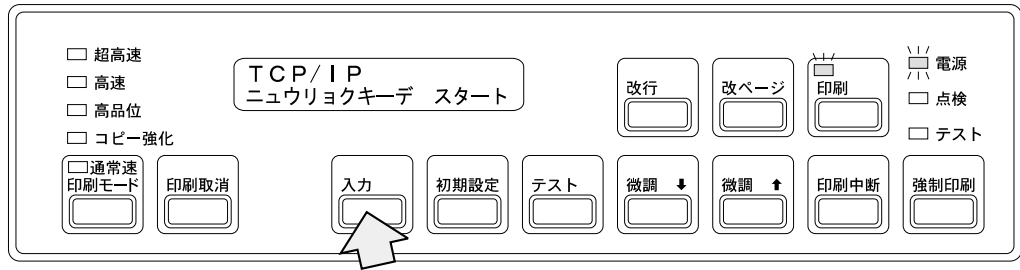


- 3 下記のメッセージが表示されるまで、**初期設定** を数回押してください。

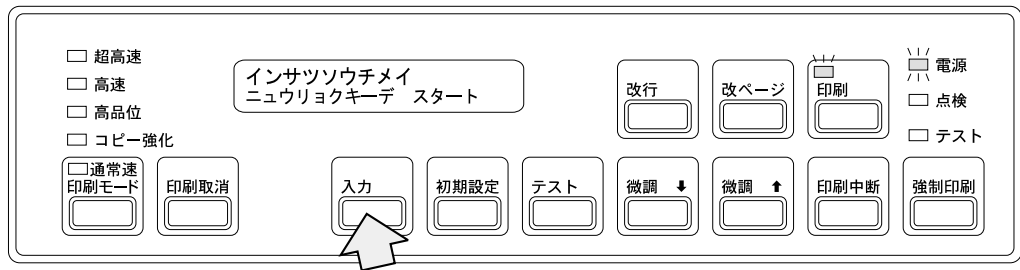
T C P / I P
 ニュウリョクキーデ スタート

行きすぎたときは、**改行** を押すと戻ります。

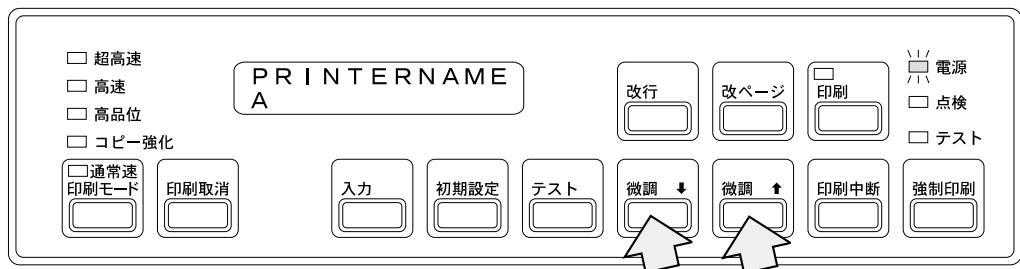
- 4 **入力** を押して TCP/IP 設定を開始してください。



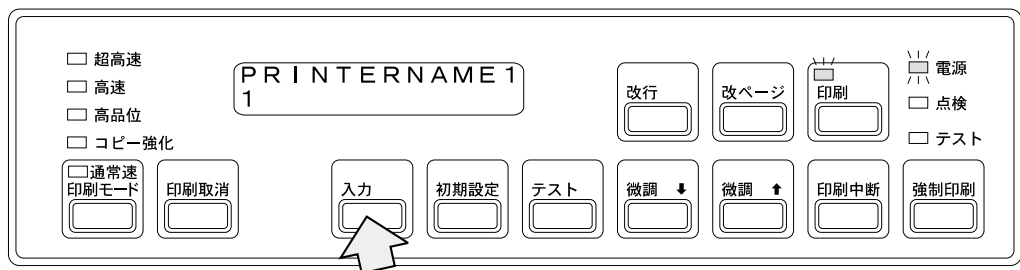
5 **入力** を押して印刷装置名の設定を開始してください。



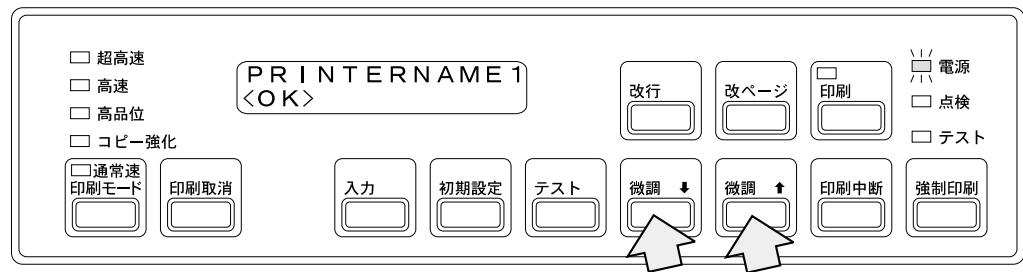
6 メッセージ表示の上段には、現在の設定値が表示されます。
微調 または **微調** を押して、メッセージ表示の下段で設定値を選択してください。



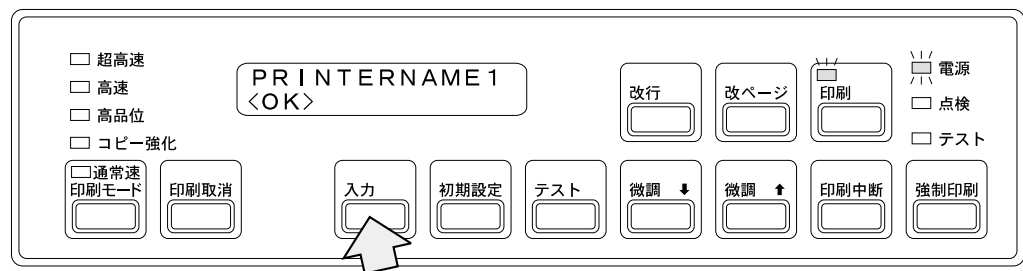
7 **入力** を押すと、選択された値はメッセージ表示の上段へ送られます。



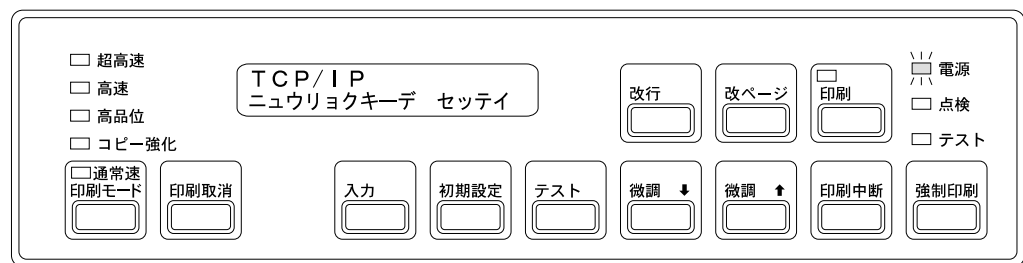
- 8 設定値の入力が終了したら、**微調** または **微調** を押して、メッセージ表示の下段を<OK>に変えてください。



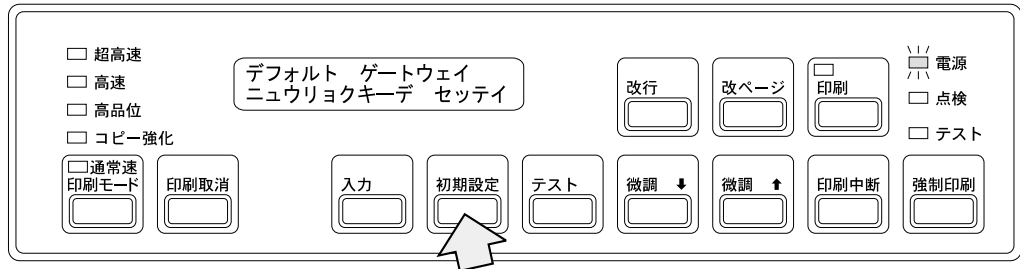
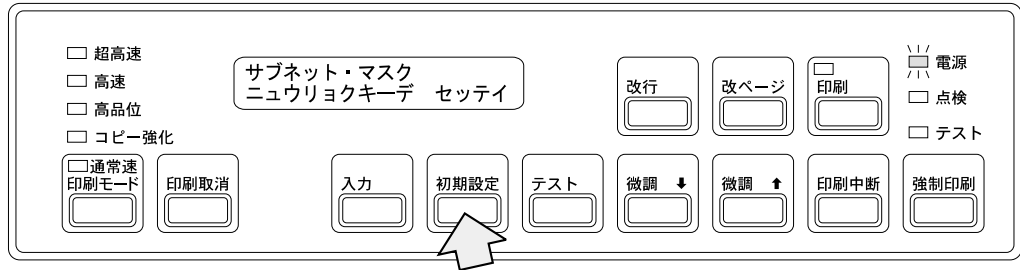
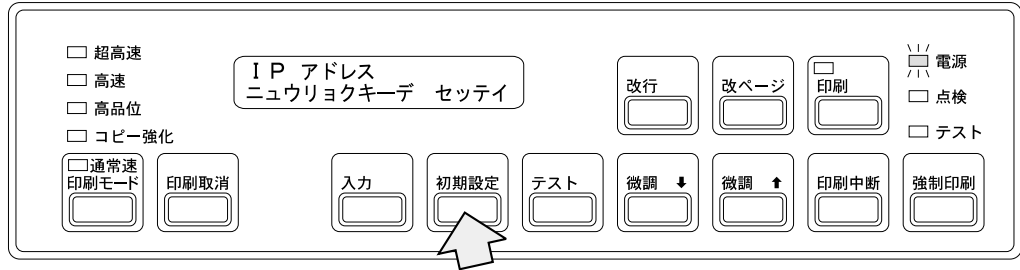
- 9 **入力** を押してください。



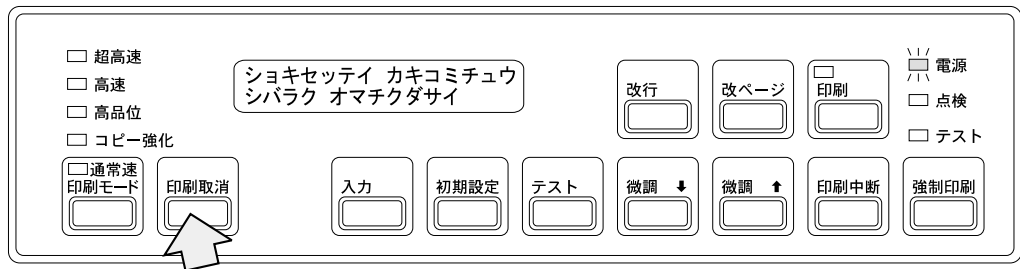
- 10 これで印刷装置名の設定が終了しました。



- 11 **初期値設定** を押すと TCP/IP パラメーター設定が順次表示されます。メッセージ表示部の下段のメッセージに従い、パラメーターを設定してください。



12 設定終了後、**印刷取消** を数回押してください。メッセージ表示部は以下のように変わります。



初期設定が終了すると、5400-006 は電源を入れた直後の状態に戻ります。しばらくお待ちください。(2-10ページの2.3、『電源オンと電源オフ』を参照)

Telnet5250 の設定

Telnet5250 設定には、図1-2に示される各々のパラメーターがあります。Telnet5250 により接続する場合、設定が必要なパラメーターです。

図 1-2. Telnet5250 パラメーター		
構成パラメーター	説明	選択値
ホスト IP アドレス	AS/400 の IP アドレスを指定します。	数値の形式は、 xxx.xxx.xxx.xxx
デバイス名	接続機構のデバイス名を指定します。指定しない場合は、AS/400 から自動的に割り当てられます。	AS/400 から割り当てられた場合、最大 10 字の英数字 QPADEVxxxx
ポート番号	接続機構の TCP ポート番号を指定します。この値は、AS/400 で指定されている番号と一致しなければなりません。	数値の形式は、 xxxx 1 ~ 65535
IGC フィーチャーの指定	接続機構の IGC フィーチャーを印刷装置側から指定するか、AS/400 上で指定するかを設定します。ハイを指定した場合、印刷装置が AS/400 へ接続する度に、印刷装置記述が AS/400 上で作成されます。記述内容もその度に初期値へと戻されます。通常は、 <u>イエエ</u> を指定してください。	ハイまたは <u>イエエ</u>
受信バッファ	プリンターの受信バッファ・サイズを指定します。	サイダイまたは <u>ヒョウジュン</u>

注: 下線のあるのが出荷時の設定です。

Telnet5250 設定の入力

1-31ページの『TCP/IP 設定の入力』を参照し、各パラメーターを設定してください。

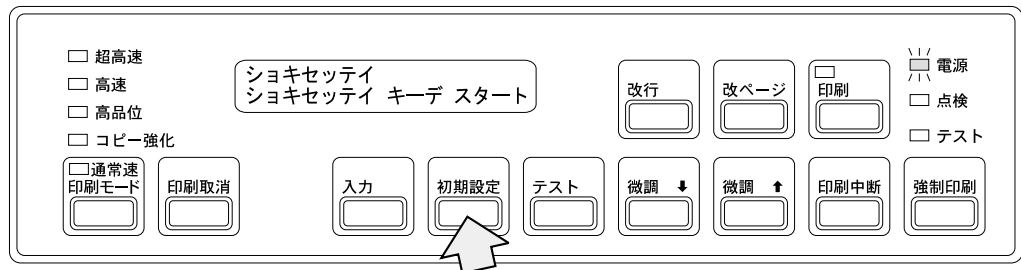
1.3.4 PC と接続 (LAN フィーチャー LPR 接続) する場合

5400-006 LAN フィーチャーの出荷時、AS/400 システムと Telnet5250 で接続するように初期設定されています。インターフェース・ポートの初期設定を変更することにより、LAN 経由での LPR 接続と PC 直接接続のいずれかを指定できます。パラレル・ポートで PC と直接接続する場合は1-26ページの1.3.2、『PC と接続 (パラレル・ポート接続) する場合』を参照してください。

インターフェース・ポートの設定

プリンターの接続を LPR に変更します。

- 1 電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを (|) 側に倒してください。電源が入ります。(2-10ページの2.3.1、『電源オン』を参照)
- 2 **初期設定** を押してください。メッセージ表示部には次のメッセージが表示されます。

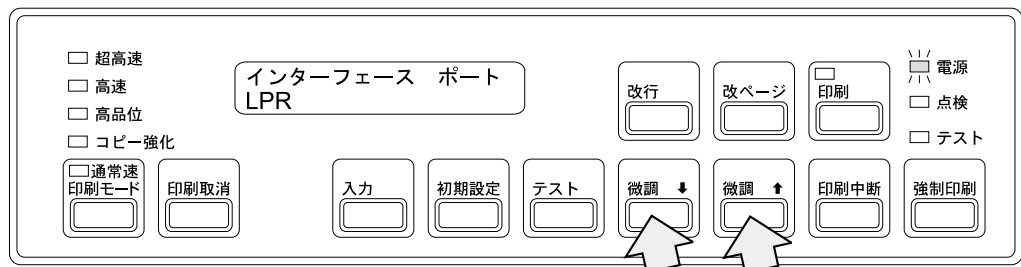


- 3 再度 **初期値設定** を押すと次のメッセージが表示されます。

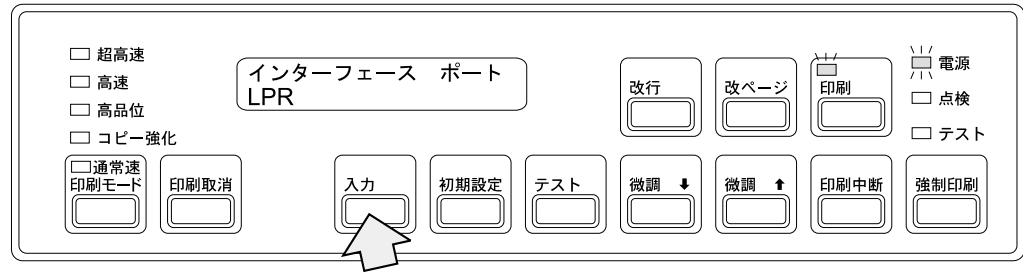
```
インターフェース ポート  
T E L N E T 5 2 5 0
```

行きすぎたときは、**改行** を押すと戻ります。

- 4 **微調** または **微調** を押して、メッセージ表示の下段を「LPR」に変えてください。



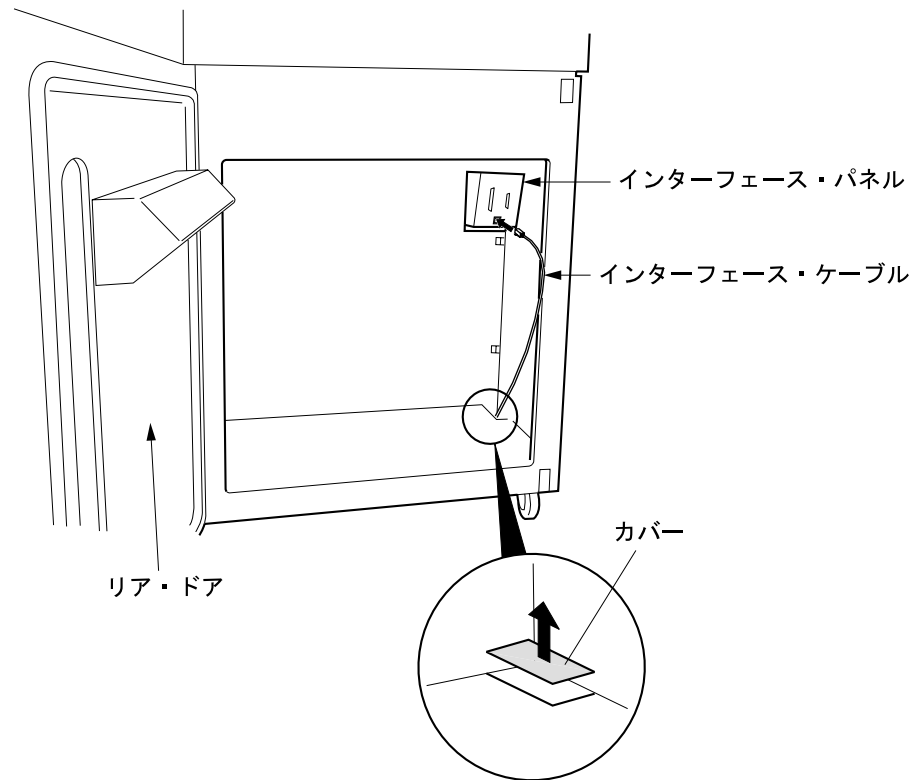
5 **入力** を押してください。



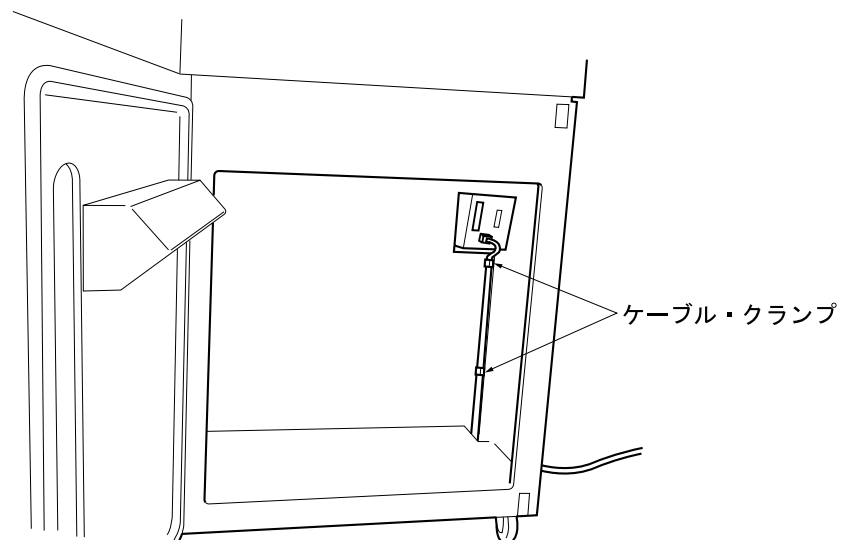
6 次に TCP/IP パラメーターを設定します。
TCP/IP パラメーターの設定は1-31ページの『TCP/IP 設定の入力』を参照してください。

インターフェース・ケーブルの接続 (AS/400 あるいは PC と LAN 接続する場合)

- 1 電源スイッチを () 側に倒して電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 2 リア・ドアを開けてください。
- 3 スタッカー部右奥の穴をふさいでいるカバーを取り外してください。下の方から手で押し上げるようにすると外れます。(このカバーはこのあと使用しません。)
- 4 インターフェース・ケーブルを開けた穴から通して、インターフェース・パネルの下側のコネクタに接続してください。



- 5 スタッカー部右側にあるケーブル・クランプを使用して、インターフェース・ケーブルをスタッカー部に固定してください。



6 リア・ドアを閉じてください。

LAN で接続する場合、以上でIBM 5400-006の設置は終了です。

フロント・ドア、リア・ドアの開閉方向を変更する場合は、2.11、『ドア開閉方向の変更』を参照してください。

